

平成24年度 静岡県職業能力開発促進大会

目 的

職業能力開発の促進に関係する者が一堂に会し、相互の連携を深め、また職業能力開発の重要性の認識と技能尊重気運の醸成を図るために開催します。

実施者 主 催 静岡県職業能力開発協会
後 援 静岡県

日 時 平成24年11月28日（水） 午後1時30分～5時

会 場 静岡市東部勤労者福祉センター「清水テルサ」
静岡市清水区島崎町223

参加料 無料

大会次第

1 開 会 午後1時30分～

2 会長挨拶

3 表 彰 午後1時30分～2時40分

(1) 知事表彰

(2) 会長表彰

(3) 叙勲・褒章・厚生労働大臣表彰受賞者の紹介（職業能力開発関係）

(4) 謝 辞

4 祝 辞

静岡県知事他

5 講 演 午後3時～5時

講師名 水野 貴秀 氏（(独)宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所）

テーマ 「はやぶさ」機器開発者（レーザー高度計）が語る！

レーザーで距離をはかる～探査機「はやぶさ」のライダー開発～

※詳しくは次頁参照。

6 閉 会

「はやぶさ」

開発者が語る成功の裏話も！！

1・講師名 みずの たかひで 水野 貴秀 氏（「はやぶさ」レーザー高度計開発担当）

（独）宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 宇宙機応用工学研究系 准教授



＜水野先生＞

水野先生は、1995年から「はやぶさ」プロジェクトに参加、探査機「はやぶさ」が小惑星イトカワとの距離を測るために必要な、レーザー高度計の開発を担当されました。

レーザー高度計は着陸のための重要なセンサーで、イトカワへの2回の着陸を成功させるために貢献したことに加えて、イトカワの表面の地形や質量の測定にも使用されて大きな科学成果を生みました。

また、「はやぶさ」が地球に帰還した際には、ヘリコプターによるカプセル搜索を担当され、私たちにカプセル発見の第1報を届けてくださいました。

2・テーマ 「はやぶさ」機器開発者（レーザー高度計）が語る！

レーザーで距離をはかる～探査機「はやぶさ」のライダー開発～

2010年6月13日、小惑星探査機「はやぶさ」は、オーストラリアのウーメラ砂漠に美しい流れ星となって帰還、月以外の天体からは世界で初めてとなる、小惑星との往復と表面物質の採取に成功しました。

「はやぶさ」は小惑星への着陸のために、レーザーを使って距離を測るレーザー高度

計（ライダー）を持っています。講演ではこのライダーの開発を中心に、宇宙開発における「ものづくり」の楽しさやきびしさをお話しします。

また、たいへん理想的に発見されたために、報道ではほとんど取り上げられていない、「帰還したカプセルをどのように捜したのか？」についてもお話しします。

申し込み方法 FAX か直接電話で申し込んでください。（定員**400名**）

問合せ先 静岡県職業能力開発協会 総務課 TEL (054) 345-9377

FAX (054) 345-2397

[平成 24 年度静岡県職業能力開発促進大会参加申込書]

氏名	所属先